

2018.9.27 名寄新聞

名寄市議会決算審査委

積極的な活用を検討 学校カウンセラー導入で答弁

【名寄】名寄市議会決算審査特別委員会（東川孝義委員長）は27日、消防費や教育費などで質疑を行った。高橋伸典議員（公明）は、6日に発生した北海道胆振東部地震に伴う停電被害で「名寄消防署の業務に影響はあったのか。また、広報車は走ったが、ほとんど聞こえなかった。避難が遅れることにもな

るため、伝達手段として新たな機材購入の考えは」と質問。

佐々木幸雄消防署長は「停電と同時に自家発電が正常に作動したため、業務に支障はなかった。

山本昌之総務部参事（防災担当）は、広報車によるアナウンスで「家の中にいると聞こえないなどの課題があったため、資材購入も検討材料したい。」

佐久間誠議員（市民連合・凜風会）は「停電も含めた冬期間の災害発生時の対応は」と質問。

加藤剛士市長は、過去に道内で発生した冬期間停電を教訓に、市庁でも冬期災害を想定した訓練を実施しているとした他、「全ての町内会ではないが、まちづくり懇談会でも議論する方向で話が進んでおり、市民意識を高めていきたい」と答え、理解を求めた。

山崎真由美議員（市民連合・凜風会）は、年間30日以上欠席する

児童生徒の不登校対応に向けたスクールカウンセラー導入の考えで質問。

スクールカウンセラー導入で河合信二教育部長は「過去に導入を検討したが、学校側から、児童生徒とじっくり相談して対応したいとの意向があり、導入の経緯はない。だが、道教委に要請すれば導入できるものであり、要請する事案がある場合は学校と協議して進めたい。」

小野浩一教育長は、カウンセラー導入は効果があると認識した上で、「積極的に情報収集して活用を検討する」と前向きな姿勢を示した他、各学校で見守り児童を個別に支援する計画を立てて取り組みを進めており、対応に努力していくとした。

川村幸栄議員（共産）は、不登校対応に重要な役割を果たす心の教室相談員増員の考えで質問。

荒井昭典学校教育課

長は「名寄、名寄東、凜風の3中学校で相談員2人を配置して対応しているが、3人体制としていきたい」と答えた。

佐藤靖議員（市民連合・凜風会）は、市立大学習環境の充実で「大学習地内にはB&Gプールがあるが、老朽化も踏まえて移転の考えは」と質問。

小野教育長は、プールの利用率も高いことに加え、南地域に南プール、北地域にB&Gプールがあり、市内の配置バランスもよく、市民ニーズに応えた施設であることを強調し、「地域貢献に大きな役割を果たす観点からも現状が望ましい」と答え、移転の考えはないとした。

塩田昌彦議員（市政クラブ）は、智恵文で実施している小中一貫教育で「合同授業の際、智恵文小児童が徒歩で智恵文中に移動しているが、安全確保への考えは」と質問。

河合教育部長は、移

動時間が効果的ではないことに加え、雨天時など悪天候の場合は授業が変更となると、「本年度からスクール

バスによる移動を試している」と答えた。

（秋元）

北海道庁
建設部
建設課
建設課長
建設課長
建設課長